

研 究 分 野	資源管理	部名	資源管理部
研 究 課 題 名	資源回復計画作成等推進事業（ヒラメ、ウスメバル、マダラ、小型底曳網漁業）		
予 算 区 分	漁業調整費（強い水産業づくり交付金（国1/2））		
試験研究実施年度・研究期間	平成14年度～平成18年度		
担 当	田澤 亮、尾坂 康		
協力・分担関係	水産庁仙台漁業調整事務所、水産振興課		

〈目的〉

我が国周辺水域において緊急に資源の回復が必要な魚種について、全国または地域レベルで資源回復のための計画を策定し、そのための取り組みについて総合的に支援するものである。

〈試験研究方法〉

資源回復計画作成に必要な資料を整理・作成し、勉強会や漁業者協議会での報告を行うとともに、関連調査を実施した。

〈結果の概要・要約〉

I 地先資源回復計画

ヒラメ資源回復計画

（対象漁協：階上～尻屋の刺網、小型底曳網）

- ・7月に三沢地区・八戸地区の漁業者を対象にヒラメ勉強会、8月に小型底曳網漁業者（船主・船頭）を対象に勉強会を開催。
- ・9月に太平洋南部ヒラメ資源管理検討会（組合長等参加）を開催。
- ・9月～12月に三沢市漁協の釣り漁船を用船し標識放流を実施（表1、図1、図2）。
- ・12月に第1回太平洋地区漁業者協議会で協議の経過を報告。
- ・3月に第2回太平洋地区漁業者協議会で協議の経過を報告。

ウスメバル資源回復計画

（対象：岩屋～大間越の刺網、釣り、小型定置網（底建網含む））

- ・12月に開催された第1回各地区漁業者協議会（太平洋・日本海・陸奥湾）において、計画案を提示し、各組合の理事会等に諮るよう依頼。
- ・2、3月に開催された第2回各地区漁業者協議会で計画案の承認。
- ・3月に開催された青森県東部・西部海区漁業調整委員会で計画案の承認。

II 広域資源回復計画

マダラ陸奥湾産卵群資源回復計画

（対象：佐井～外ヶ浜の小型定置網（底建網含む）、沖合底曳網）

- ・12月に開催された第1回陸奥湾地区で計画素案を提示、各組合の理事会等に諮るよう依頼。

- ・ 2月に開催された第2回陸奥湾地区漁業者協議会で計画案の承認。
- ・ 3月に開催された青森県東部・西部海区漁業調整委員会で計画案の承認。
- ・ 3月に開催された太平洋、日本海・九州西広域漁業調整委員会で計画案の承認。

III 包括的資源回復計画（対象漁業：小型機船底曳網漁業）

- ・ 8月に小型底曳網漁業者(船頭)を対象に勉強会を開催。
- ・ 9月～11月に回復計画策定着手の事前調査として、平成17年度に作成した改良漁具の有効性について曳網試験を行った。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表1.平成18年度に実施したヒラメ標識放流調査のサンプリングの状況

調査場所：三沢地先、漁法：へら曳き釣り、釣獲時間：各水深1時間、針数：5針

平成18年9月22日実施						平成18年11月3日実施						平成18年12月14日実施									
全長(cm)	水深(m)				総計	全長(cm)	水深(m)					総計	全長(cm)	水深(m)					総計		
	10m	20m	30m	40m			10m	20m	30m	40m	50m			10m	20m	30m	40m	50m			
22					1																
23	1				1																
24	3	1			4																
25	7	2	1		10	1	1				2										
26	3	1			7	4	1	1		1	7										
27	2	1			3	6	2	2		1	11										
28	2	5	3		10	3	1	3		1	9										
29	1		1		3	2	2	3		1	8										
30		1			1	2	5	4			11										
31	1				1	1	2	6			9										
32						1	2		1		4										
33																					
34																					
35		1			2																
36		2	1		5																
37	1	1			4				1		1										
38	1	1	1		5																
39		1			1				1		2										
40							1				2										
41	1	2	2		5		1		1		1										
42																					
43			1		1			1			1										
44-																					
44-																					
総計	24	20	13	0	68	23	19	22	4	6	74										
	(3)	(8)	(5)	(7)	(23)	(0)	(3)	(2)	(2)	(1)	(9)										

カッコ内は35cm以上の尾数



図1.平成17年度放流群の再捕状況



図2.平成18年度放流群の再捕状況

★：放流場所 ×：再捕場所 カッコ内：経過日数

〈次年度の具体的な計画〉

ヒラメについては、平成19年度の計画作成を目標に、ヒラメ勉強会等を通して資源管理推進を図っていく。計画作成した魚種について、漁獲状況等のモニタリングに努める。

〈結果の発表・活用状況等〉

ヒラメ標識放流調査結果：平成18年度東北ブロック底魚研究連絡会議で発表。